

# 広大通信

発行/広島大学広報グループ



【連絡先】  
広島大学広報グループ  
〒739-8511 広島市鏡山1-3-2  
☎082-424-6131 ☒082-424-6040  
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

## 文科省事業

# 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択

平成29年度文部科学省の「科学技術人材育成費補助事業『ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)』」に本学の取り組みが採択された。今後6年間、本学は地域の研究教育拠点としてリーダシップをとり、ダイバーシティ研究環境の実現や女性研究者の研究力向上などを目指す。

## 研究とライフイベントが両立できる環境を

属性や価値観、知識の多様性を積極的に活かす「ダイバーシティ」。グローバル化・少子化・高齢化が進み、社会が複雑化する中で、研究環境においても多様な価値観や能力を活用する「ダイバーシティ研究環境」の実現が急務となっている。本事業は、男女を問わず研究者が研究活動と出産・子育て・介護などのライフイベントを両立できる環境を整備するとともに、女性研究者の

研究力の向上を一体的に推進するた  
めの優れた取り組みを支援する。本  
学が採択された「牽引型」は、大学  
が企業などの連携機関とともに事業  
を推進し、自治体や民間企業などと  
協力して、地域における女性研究者  
の活躍促進を牽引することが期待さ  
れる。

● 本学は、共同実施機関であるマツ  
ダ株式会社、デルタ工業株式会社、  
一般財団法人国際開発センターと協

を新設し、女性研究者の海外渡航費  
を助成

◆ 対象者の公募など、詳細は追っ  
て「いろは」や学内メールで周知す  
るほか、9月29日(金)午前中に学  
内説明会を開催予定。

## 遺伝資源の利用を総括

## ABS推進室を設置

8月20日、本学に「広島大学ABS  
S推進室」を設置した。  
遺伝資源の取得の機会(Access)  
と、その利用から生ずる利益の公正  
かつ衡平な配分(Benefit-Sharing)  
は、生物多様性の重要課題の1つで  
あり、Access and Benefit-Sharing  
の頭文字をとってABSと呼ばれて  
いる。

● 国が5月に批准した「生物多様性  
条約」に関する名古屋議定書に伴い、  
海外(批准国)から遺伝資源(植物・

動物・微生物など遺伝子を有するもの  
全般)を取得し、研究などに利用  
する場合のルールとして「ABS指  
針」が公布された(8月20日発効)。

このABS指針に関して統括する  
組織としてABS推進室を設置する  
ため、広島大学ABS規則を7月18  
日付で制定した。推進室では、本学  
におけるABS事業に対応するため  
の中心的な役割を担う。

ABS推進室は、理学研究科、先  
端物質科学研究科、医歯薬保健学研  
究科、生物圏科学研究科、自然科学  
研究支援開発センター、両生類研究  
センターなどの教員により構成され  
る。業務は、利用する遺伝資源が名  
古屋議定書の適用を受けるかの判断  
や遺伝資源利用者への指導助言な  
ど。事務処理は関連部署の協力を得  
て、学術室学術部学術支援グループ  
で行う。

## オープンキャンパス 晴天に恵まれる

8月17日〜18日にオープンキャン  
パス2017を開催した。

参加者数は延べ3万9155人と  
なり、晴天のなか、多数の参加者が  
本学のキャンパスを訪れた。今年  
は熱中症対策と広大ブランド  
発信のため、ポトルウォーター  
「広島大学銘水」  
の無料配布も  
行った。



「飲まずに持って帰ります!」という高校生も

## 平成30年4月

# 情報科学部 新設 総合科学部国際共創学科 改組 決定

情報科学部および総合科学部国際共創学科を平成30年4月に設置することが決定した。また、工学部を平成30年4月に改組することも決定した。今後は、学生募集を本格的に開始する。

## 熱闘!全国から高校生ら集結 「日本生物学オリンピック」開催

8月19日(土)〜8月22日(火)、  
「日本生物学オリンピック2017  
本選(広島大会)」(主催/国際生物  
学オリンピック日本委員会)が本学  
で開催された。全国の予選を勝ち上  
がった高校生など80人が出場し、3  
泊4日の合宿形式で生物学の知識や  
実験技術を競い合った。

本大会は、高校生などを対象にし  
た全国規模の生物学に関するコンテ  
スト。2018年夏にイランで開催

される「第29回国際生物学オリンピ  
ック」に出場する日本代表選考(4  
人)の国内予選も兼ねる。

7月に全国各地で実施された予選  
大会の挑戦者は3849人にもものぼ  
った。本選大会では、国際生物学オ  
リンピックを模した実験試験4問の  
ほか、両生類研究センターの見学、  
研究室訪問や交流会などを通じ、生  
物学研究者や参加者同士の交流を深  
める多彩なプログラムを実施した。

最終日の表彰式では、成績上位者  
に金賞・銀賞・銅賞および特別賞各  
賞が授与された。特別賞のうち「実  
験試験優秀  
解答賞(分  
類・系統学  
部門)スケツ  
チが良かった  
で賞)」



浅島国際生物学オリンピック  
委員会委員長(右端)と  
金賞受賞者10人

### 生物圏科学研究科 国際サマースクール

生物圏科学研究科では、国際交流協定校などの学生・若手研究者を招き、7月26日から7日間、第10回生物圏科学国際サマースクールを開催した。

同スクールは、大学院生や若手研究者がグローバルな視野で生物圏科学領域の知識と技術を共有することを目的に平成20年から開催している。今年度は、韓国、台湾、インドネシア、ベトナム、タイ、フィリピン、スリランカから11人が参加した。

参加者は、研究室訪問や希望に応じた専門的プログラムワーク(水産・海洋生物学、動物生産科学、食品化学・栄養学、応用分子生物学)に参加し、学生アシスタントとともに高度な研究技術・知識を学んだ。世界遺産(金沢記念公園・宮島・厳島神社)や食品関連企業(オタフクソース株



フェアウェルセレモニーでの集合記念写真

式会社、株式会社サタケ)も見学し、広島市の歴史や産業も学んだ。最終日は研究科説明会を開催し、研究科の紹介や留学生・修了生のプレゼンテーション、留学情報の提供および質疑応答を行った。フェアウェルパーティーでは、参加者は本学学生や教職員と別れを惜しみつつも一層の交流を深めた。

### 候補者募集! 「メタセコイア賞」 広島大学女性活躍促進賞

今年度の広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」の候補者を募集している。

同賞は、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため平成25年度に創設。募集要領は次のとおりで、自薦・他薦を問わず多くの応募を募集。  
【授与の基準】  
①男女共同参画の推進および女性の活躍促進において先進的な取り組みを行っていること認められる中国四国地域の個人または団体  
②男女共同参画社会の構築において顕著な研究業績を挙げた、または指導的働きをしたと認められる中国四国地域の研究者  
③女性の活躍を支援したと認められる個人または団体  
④自ら活力向上を先導した女性

【募集締切】10月13日(金)  
◆応募書類など、詳細はウェブサイトに掲載 <http://metasequoia.hiroshima-u.ac.jp>  
◆詳細は「いろは」【学内】イベント、研修等(学内開催、本学主催)に掲載  
ス 9月11日(月) 18時〜総合科学研究科第二会議室 ●電キヤンパス 9月11日(月) 18時〜社会・基礎医学棟2Fセミナー2  
【出願期間】●推薦・一般 平成29年10月16日(月)〜27日(金)  
【第一次選抜】11月21日(月)まで  
【第二次選抜】12月8日(金)〜(合格者の発表) 平成30年1月31日(水) (予定)  
◆詳細はウェブサイトに掲載 <http://phoenixprogram.jp>

行事カレンダー 9月~11月	
8月9日(水) ~9月30日(土)	…夏季休業
9月14日(木)	…経営協議会
9月19日(火)	…教育研究評議会
9月20日(水)	…秋季学位記授与式
10月1日(日)	…秋季入学式
10月2日(月)	…第3ターム授業開始(〜11/30)
10月17日(火)	…教育研究評議会
10月22日(日)	…フェニックスリレーマラソン
11月4日(土)	…第11回ホームカミングデー
11月4日(土)・11月5日(日)	…大学祭
11月5日(日)	…創立記念日
11月11日(土)	…霞・東千田地区ホームカミングデー
11月11日(土)・11月12日(日)	…霞祭
11月14日(火)	…経営協議会
11月21日(火)	…教育研究評議会

### フェニックスリーダー育成プログラム 平成30年度入学生を募集

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムは、平成30年10月に入学する学生を募集する(オンライン出願可)。同プログラムは「放射線災害医療」「放射線環境保全」「放射能社会復興」の3コースによる分野融合型専門教育を提供。「放射線災害医療」コースでは、『放射線災害から生命を守る医師枠』推薦入試を実施する。  
【入試説明会】●東広島キャンパス <http://hiroshima-u.ac.jp/>

### 平成29年度 情報セキュリティ研修

9/1 ほか

## 広島大学基金寄附者 にご厚意に深く感謝申し上げます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>猪原 和弘 様</li> <li>医療法人SRIC</li> <li>中光整形外科リハビリクリニック</li> <li>院長 中光 清志 様</li> <li>医療法人エム・エム会</li> <li>理事長 白川 泰山 様</li> <li>医療法人おち眼科医院</li> <li>理事長 越智 温子 様</li> <li>医療法人社団 楓園 林病院</li> <li>理事長 林 淳二 様</li> <li>医療法人社団 慈恵会 さいだ病院</li> <li>院長 大杉 健 様</li> <li>医療法人社団 仁慈会</li> <li>理事長 安田 克樹 様</li> <li>医療法人社団</li> <li>スマイル博愛クリニック</li> <li>理事長 高杉 啓一郎 様</li> <li>医療法人社団 清流会</li> <li>理事長 永井 賢一 様</li> <li>医療法人社団</li> <li>ひかり会 木村眼科内科病院</li> <li>理事長 木村 徹 様</li> <li>医療法人社団 マツキ</li> <li>理事長 松本 啓 様</li> <li>医療法人社団 まりも会</li> <li>理事長 平松 廣夫 様</li> <li>医療法人 昭和原田整形外科病院</li> <li>理事長 原田 昭 様</li> <li>医療法人 せいざん 青山病院</li> <li>院長 大村 泰 様</li> <li>医療法人 明笑会</li> <li>理事長 安本 正徳 様</li> <li>大谷 美奈子 様</li> <li>小谷 泰三 様</li> <li>オタフクソース株式会社</li> <li>代表取締役社長 佐々木 直義 様</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>越智 光夫 様</li> <li>医療法人 〇〇</li> <li>金谷整形外科クリニック</li> <li>理事長 金谷 篤 様</li> <li>株式会社 紀陽</li> <li>代表取締役社長 寒川 起佳 様</li> <li>株式会社 総合広告社</li> <li>代表取締役 副会長 坪井 高義 様</li> <li>株式会社 社 じき堂</li> <li>代表取締役 大谷 博国 様</li> <li>株式会社 パルコム</li> <li>代表取締役 山坂 哲郎 様</li> <li>株式会社 やまだ屋</li> <li>代表取締役 中村 靖富満 様</li> <li>佐々木 清 様</li> <li>佐藤 崇文 様</li> <li>佐藤 利行 様</li> <li>下中 正司 様</li> <li>大正富山医薬品株式会社</li> <li>代表取締役社長 藤田 憲一 様</li> <li>丹根 一夫 様</li> <li>長尾 浩樹 様</li> <li>中崎 俊三 様</li> <li>中村 英雄 様</li> <li>橋本 傳一 様</li> <li>林 睦雄 様</li> <li>原田 久 様</li> <li>松田 哲基 様</li> <li>福岡 晃信 様</li> <li>松井 英次 様</li> <li>丸山 博文 様</li> <li>明神 宣之 様</li> <li>ミリアグループ株式会社</li> <li>代表取締役 沼田 和宏 様</li> <li>山本 裕之 様</li> </ul>
---	---

※平成29年7月20日〜8月16日までに寄附をいただき、公開について承諾いただいた方を掲載

●締結した協定  
 【大学間国際交流協定】▼天津科技 大学(中国) / 平成29年8月3日  
 【部局間国際交流協定】▼社会科学 研究科・社会経済システム専攻 / 平成29年8月9日  
 洋理士大学経済成長センター等との 研究ネットワーク協定(シンガポール) / 平成29年8月3日  
 ▼生物圏科学研究科 / 南南大学水産海 洋大学(大韓民国) / 平成29年8月9日